を傾注する方針

法案、罪便邢仓法中改正法案。大日本航空产

言明に聞し、イギリス政府は擔益 の支那における門戸開放政策修正

に決定したと見るのは何早だい。

トラック、貴助軍での他気治品の

既にアメリカが一学五百萬界の計

体験明け後輸出保証制度が完実在の情勢を観測すればクリスマスをのけずを観測すればクリスマス

議論に提る豫算案及び諸法案

5年度一般会計選算案、總数」支同時武力作職に備へるため軍備 の充實を操想されるが、有效草業 縦湾軍事投の駅道として駿野利神一、増税関係諸法律案 然に置みこれを再度機張する必要 強したのであるが、最近の金融情 の感ぜられるので、今後における

▲病邪省 丘段法中改正法案法中 正法案

行発發行限度医院擴張に親する。 資金調整法中牧正法案、兌換銀 張行法等、脊税額保法案・監時

▲拓術省 白賴米內茶照線的自計 財鮮 耶蒙法中 改正法法 「獨大百名法院、博太正 法社会有論規則に 「東京名法院、博太正 法社会有論規則に 「東京名法院、博太祖教師」に 「東京名法院、博太祖教師」に 「東京名法院、伊太祖教師」に 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京名法院、伊太祖教師」 「東京会院、伊太祖教師」 「東京会院、
「

新聞使節池田林儀報』 しゃともに、地に支部に及れて、「は、「ないない」の言いないでは、

愈よロ

7

ルタ軍港に入港

11四萬場巡洋戦闘シウド親初の英、地の最要版にあり、日本人の承した四萬場巡洋戦闘シウド親初の英、地の最要版にあり、日本人の承した、駆は最

軍の武汉長久を新頭した、黥は泉

人の機利克除に限する法案、非二度事件性調整法案、連召、沉淀、因司法省、司法申违保護法案、家

姓式會社 所屬金泉、

第守も大いに数理した、廿日にナこと結なるをもつて我等の展系は

興了る爆发であるからこれを一般、財秘入会もこれを法律化して提出「保倉機舶限度については衝突の中」間局で変量中で、年内に職議に対し時間で変量中で、年内に職議に対し時に提出する、実験別介計の他育「要う」法律薬 通り、週間及び網後施設の割費は出來得之限り体育明は議會に提 地質を特別省計像算案に目下主 これに要うる法律案に像算案と同 体育朝は議合別頭これを提として組成されるが、恒例 別食品鑑賞、通信事業、 又真種に上てものとふられてが、一出うと 一、豫立県保路出御案出する。

> 金融に関する機能を興銀には奥す 十一銭の規定は近く設励される選

びとなったが、全と問題して競時

追加独算として計上され、であら

相首ム

我们的光度必要に施し、且つり 下環定されてる 我们党等の要に関し、且つり、下鷺家されているを提供条件は特許等付出漁舗等案、技術組制制、それで、財職を進めているが、目舗費を封建漁舗等案、技術組制制、それで、財職の進んする総の場所で、き、月、技術局並に各省において

故正法案,東京都制に関する法。 案前村側中改正法案。(農村自治法案) 北海道土工組合法中改正 法案) 北海道土工組合法中改正 法案, 著作權侵觀法案

でんところによれば、米中一月~ ・ フルド紙の報 ロントン林電『十八日

目制改正で勅任も相當增員 條心施行

H

一ケ所に

本府の資便改革は夏生場、企・生

製、情報等が検査地として開機されてある模様である。 れてある模様である で、躍進機造局として関期的説

遊高及、小林穏理感及が東上中央。 定、員下これが像立時域に就て工 学七月頃までに開設うこことに内

明年七月頃迄に開設

我勇士の清掃隊 きれいにしてお正日を班へすせ

無名通信

容の附錄添附新年號主要內

英の對支援助案

「ロンドン十八日同盟」 帝國政府「総当保護その他の援助第一具體的」が成立すると同時に、支那に昇 ルの 昔こしで下車し、足山地 質問権等だ。海辺一千何メー

ら降やら観と吞み込め政治ことべただといく環場に乗り、確立 京語田里の気持、 宗松上将城で るを議合すで遺ひ上り

比現實の寒む氣

なるのと強烈され、今日までに関 貨物自動車の輸出に凡七五十萬、雲声。ピルマ間に使用される

に對しては或る程度すで認識を有 、何等かの形式で日本商品を求 「何故默つてゐる? 上様の思し

「町、これでもうんと云は四か」 けるやうであったが、脚を喰ひ

最後にお町は「うしん」と云って 歌雄は異を吊り上げて叱った。「打てく、」もつと騙く打て」

本府辭令(點

◆三種醫療局長 盛宵日報中小

と懇談に逃げた。 阿大便は来とこ

◇西岡家道里事等。 東上中で、 日午後、あかつき、で脳丘 ◇魔田線山路長、東上中の出廿日 「あかつき」で隠丘

題こへ あれば日本仏樂語に特以

時の録音 代號書 十九日

電におけ、まと丁二日自動車に 見明に到着 同盟 重慶米

収への心痛へに進むにあり。 「関民も少なーにして、具別地「有難過ぎたおけな」を、状の窓の一般なるとれと異し點は、政府「や、影節緩が流騰災下さるといる。 というというというというというというというというというというというというとい 七丁門講教も、あと一週間し は、整題に権らずお云し付ける

門が弱く熱やセキの出る人

汗て夜分ね苦しい人

申込は

電話京都一〇一番・九〇四番 救心

本 舖 東京市京福區西八丁州二丁日十二

臓弱く動悸や息切の人

弱で食慾の進まぬ人 膜や肺のよくない人 臓の病で苦しむ人

然、商品券にも跨機銃。

かや 東亜は猛々明朗に

万一品切れの節は、代用品ありません故、敷心本館へお申込を投替車京七二六番。『教心』職價は一週分二四二週分三四五十錢三週7万回、根店デバートにあります

學派出二 を一人一回躍り 手常,食養生」 の方へ無代地名 人ガキス御印込 日分と『心殿の



胃病や神經痛に惱む方へ

·化が早く、全身の血行をよくして身際を温め、病氣に嚴要した『繋心』です。哪嚇得難等ですから内臓への吸吸臓・ののので、無害、鳥犀角、熊熊、牛荒、真球非他嫉痛)を総合が、背しから皇漢醫藥として珍重されて來た特組動物の 即な御手常波です。病勢の進行し易い冬は、體内疾抗力、かを身體につける事が、病の身で冬を迎へるががの一番降り罹る等にも容易に折れない、あの作の様な臓跡な抵 にしますから、病勢は衰へて、身體に活力がついて、 この抵抗力を順職させるのに大變良いと評判されてゐる 之に勝つか否かが最も大事で、然が運命の岐れ路です。 ら丈夫な身間になって行くのです。 にしますから、病勢は衰へて、身際に活力がついて、恐く抵抗して治療作用を鬱腫する各種ホルモンの死泌を眠

心臓よりの發作に奏効 呈しますから、申込んで御傍殿なざるのが早割りです。 この『教心』實験藥を、誰方にも二日分無代で本給より

世の同病者に知らせ度い 阿山市 天衛 增岡 忠勝

種動物精膽藥。救心,靈二日分 心」を契め近くと著へ居り 城 右鞭感感のの破壊上り、世の同病者のだべに、「数

琳聖太子の後裔

意外京城に殘存

旅館に働く小林俊工

內鮮

體の歴史は古

窃盗を逮捕

今曉東部京城に現る

の強盗

現金强奪悠々と逃走

押賣り等に注意

る考へであります

ツカタニの皮手供

指輪を盗み

どつミ五百件

からさつと半島を限つ | まで四日間の故院總件数は六百七

人の内地渡航

取扱内規を改正

に養に内却を責任者の遊談者と別 回返人 次の如く取扱ひ内規を改「魏取魏むにおいては護船都介版師について、内地とに臨近と中心」関重物実に重ねつくあつた處、今一た、改正の要職は先づ黎朝者に 證明書、手續等を簡易化

流行性関門のため、別気を自命、今

前が陰五十五分逝去した、東平上 里町一四の音名で緑遊中十九日子

* 痰

茖

鎮

断息の・

				-3	- 244	- 6 1	-1	120 D.M	
	,,,,,,	部成市	部成	本平 北南	整度 指北	金毫 南北	思京市 南	天	
1	川6	西北の風	の南風北	4	2	*	の北西北	通像	
	20 20 20 21	晴れ悪い	11 11	開れ返い	計	制めける場合は最初	明礼墨	報 20	
			2705. Jac			DATE:			

【今晩】晴れ

咳

其の他:

般たんせき

九石製藥株式會社 後寶元

液



全國築店に

金金金 五三 十十 選錢

八遺家族の慰問に 郷軍京城第四分會員の奉仕 口を割らぬ し名の死傷 京春鐵道工事場樁事 三名**發生**

作屋の批らびわの

マヨネーズ

不意の御來客に

名古屋の大火

ペナー時四十七分膜影响のため源











代時アビムロコはドーコレ



覆を企つ

は背局では他人能域中が帯び乗客には異説なかった。な

支海を渡つて山陽線小郡まで

愈よ近く實現

【浙州】全南生れ住所不足金花添

してるた骸祭墳は々さつばりある

新支那建設

飛行機ご無電を使用の企て

職職中心魔水器具い機関し

て來た、問點で優しく保護の上回。取って列車の職費を全ているとこ 達者過ぎる豆薩摩守

ナス袋を懐

井色製大田行六二四幌利耳か会場。た二百萬城のボーナスは何處へ行。居むみせ、一夜の中に使い返丁と《金扱』去る十六日至後六時年頃(平城』主る十六日平瀬所宮に落ち。の晴飛だとパッく~と梨州のよい

暮の平壌を護る

快速美の化粧料

道^{築水水}水ンン 用用用用プブ

入院随意

原條例是 根 藝 女 d 三 二二人世界通例室 的晚用 電話本局(五三〇大

いじわとりと

芸儿小出

ロードボウ

III 山國に幸あり黄海道III 料の楮が間に合はぬ馬北

あどはるん

指導方針として、先づ現在の製紙銀行し工術組行に改製し事業の

わづか四百k

【平濱】 年の類もおし迫りそろう

時局下の平壌

割き肌若の旅

强力美白化粧料!

人蔘エキス配合の

肌アレを解消する

アレを防ぎ

若く美しく

まりったって、

のったって、注射しても果して利くか。ヒフの「著返り」は、ホルモンを生のだ これは、すでに經驗の方もあるでせう。

方へ奉人に珍報日、江生村」朝野社 機費と「京社、ことり機に入って」に朝鮮戦に、鹿出に 題山、海州、京南山三川、



砂金荒蕪地

1番五〇一番五〇



- 興店にあり - 東店にあり - 東店にあり - 東店にあり - 東店にあり - 東店にあり - 東店にあり - 東京にありません。













肌の売れ、節のなくなったヒフ等、五六いたの売れ、はっきり分るでせう。 しいはれてゐる しょうのための世界の費」といばれてゐる しょうのための世界の費」といばれてゐる しけが、はっきり分るでせう。 回れると、つるりした肌にしてしまう。肌の売れ、艶のなくなったヒフ等、五六 ところが、それが普通の油ぢゃ、ついてば、ぴっくりするほど、事質が介る。相がしみこめばどうなるか、これは、ねれれがしみこめばどうなるか、これは、ねれるより、他に方法はないんです。そして、 けっきよくは、そこへ「泌みこむ油」を収まってるんだから ヒフに細い筋が、もう、はっきりついてし 例へば、コールドをぬってねると、翌朝るだけで、しみこまない。 だいゝち「小じわ」になってゐる所は、

なくと ロロンで 牛乳に、ロロンを加へますと母乳と同じ榮養 なると共に、牛乳の消化をもよくしますから、赤 ンを加へてその映路を補はねばなりませ 赤ちゃんを人工菜養なさる場合、牛乳だけで

0

最も進んだ牛乳添加料です

ミンB、アミノ酸、燐酸カルシウム等点に鑑みて、二種の含水炭素に、ビタ育見糖ロロンはこれまでの添加料の缺

を配した類のない牛乳添加料です。



發寶元 大阪用道作用 統武田長兵衛商店 商業登記公告

政治版行から励って京城版でターサ大法學部の四方博物院この間

いはゆる鐵道の黑字と慰藉料

(3)

松竹京都の、灰燼

「きちです共れ、貴下等に共然

主役に俄出演劇作家自身が

新年號の諸雜誌

本の大田巡議を見事につかんで 3 那提出第年作法」のグラビャやあた人田巡議を見事につかんで 3 那提出第一件 1 であった 1

婦入物と少年少女物を覗く

文献 [明って新たなる研究が要表] つたが、後年二郎に近に似つき、一指 "女夢跳更研究所に於いて同一鳥へ最柳に花の吹かさんものた立一代 "女夢跳更研究所に於いて同一鳥へ最柳に表えて、徳郎に故里薦見には たざまな 丁 月二十日モタコ | 新に観 [過えて、徳郎に故里薦見

7-

今晩のラヂオ

國産布勘 酒です而も豐富に補給す ニネルギーを速やかにどちらにも必要なっ

御徳用で御座います家庭用には一升壜が

朝朝みやばにツルチラきったの大喜び

大黑葡萄酒株式會社

頭痛で

みこむ榮養で 生肌から艶々と岩を を持つた豪養クリ

開邦獨処特許 ムでなくては冬の肌アレは防げま 脱まで滲みこみ、肌アレを無して真から艶々したしてありますから、しつとり肌にとけてんで築売が非獨処特許──肌の専門繁養薬ラセランを乃みに應 ームにはあの学奏滲。力の強いの肌アレは防げません。 真から

龍典中屬

- 均域十三 閉至り上日九十月二十 6,59 3,15 11,50 孫 の 軍 斯 8,15 4,35 1,10 ス - ユ 8,25 4,45 1,120 梁 響 交 4 園 田 昭主 2 田商・子作 原一線機能(二) 同注 2 田商・子作 原一線機能(二) Sall real free

で頭指を忘れる

現の他別を教します。 現の他別を教します。 現は上述した。 は日は子神・高山陽子 では、 のでは、 ので 三 金官

花 浪

每夕六时間被

早職員がこれ 能

ペポーツ 沪曲の 削始者 大 浦一郎

三日間十日上6 **必必度日朝**

5.50 3,15 11,00 テーホキンド年少 三月 8.65 2,25 ウヨシロトメ日 8.50 4,25 12,10 蟲の獄地をも 一向ンセン(三者塩入中間子 回三改弦ケョン・ロトン・日曜日

三型座金黄淵 第日話日話日話日話日話

「自然ご人生」の映畵化

化た下・艶ソリ役に一学し

本年增加高級大與行 有年強曲級之組 有年強曲級之組 使多度五年1年 與多度医五年2十年 與多度医五年2十年 以多度医子检查大1年 於與科金-多素的大碳 類 3 子供費



»Bayer«

バイエル薬品合名會駐



お買求めの際は、ペイエルアスピリンと御指名

る贈を康健と美

圈









内地業者に反對論擡頭



勞務調 學圓滑

あと下溢る

失望安 米質用買 第二六十七七名のでわれに万余 第二六十七七名のでわれに万余 一点項を動散に関節性度に五十二 一点項を動散に関節性度に五十二 はと範囲はせしも最高限落の銀 はずた五十三数から大頭を選近 と当に厚くな十三数から大頭を選近 と当に厚くな十三数から大頭を選び と高限格の銀旗に至する相切け 一端田志しの面談に領場を終了し

何子の前勢であった 在庫米增大

と高率に始まり二節五十七段と上、上高率に始まり二節がは常三側五十六段と前止値のこって直接二回五十六段と前止値のこった。 下級りを請した 一般の 下級り持合に前場を打した。

清算性たれ懸心

取引は開散である又類は上物一斤 取引は開散であるる又類は上物一斤 へであるが産地は肝酔の類なの は ので質 物海を単し

農家尚賣惜む

れ 百姓の方でも小作者、「行は底に 社 質量の方でも小作者、「行は底に 社 製造の方でも小作者、「行は底に 社 製造の方でも小作者、「行は底に

はなくするに無つたものと見られ で 成なくするに無つたものと見られ で 成なくするに無つたものと見られ で でも次び継載のあきは二十三五七 – でも次び継載ののおる因みに在 水及び継載のの内部を示すと次の知

候上申明教御翻群的大业一部 *社会总约大求措施小师專用込申问

で新三三回大配工新三門のイン・大川三回大の工工では、大川三回大工工では上京邦 一門回丁ベルエニ四年七 第一七回三

下も亦利喰押しを見せたという。

利喰押

買物一巡

定公式株济级值 迄日十二月二十ル迫切締

卒何間候居致払取テ於ニ店弊

候上願命用御

と成地の出地りに飲み出ばり、 と成地の出地りに飲み出ばり、 やうとそんな事はできる必要、 はないと云ふき、成はできる必要、 はないと云ふき、成はできる必要、 はないと云ふき、成はりで差して、 なる人して見ると發う。別の場合、 なのなる人情にしたと見るのが、 なる人情にしても最低値 値となっなるがいる。なって自先 に四次不改を対ける見つからない。 がなる人情にしても最低値 値上が始少された単位でもでも 位中が始少された単位でもでも であるる。 である人情にしても最低値 をする者ので相等とされて単位である。 をする者ので相等となっても のである人情にしても のである人情にしても のであるるののと見るの外 ないと云るものと見るの外 ないとなるものと見るの外

+

マチの 語が言い

仁川在米高

電話長三九本・六三九 の 東野 健治 商は 明神報別所教会 三月日 に用か物学断三十二

一巡手放し今後質問して深る害は ・ 主に自作機から大地主である上に ・ ご手放はな一斤子級以上を狙ひ容易 ・ に手級して来さうにないから知ら ・ した試慮は含分額くかも知れない と云ふ事であつた

皇軍精鋭を御親閥

所としては他まで低定方針に基き、ソ聯側の不常を顧論し所信に適進する決意を固めて近衛首相を訪問交渉經過を報告すると共に今後の劉策につき重要協議を遂げたが、帝國近衛的成果を見すに終つたので、右報告に基き有田外相は十九日午前十時十分首相官邸職手た著葉を選びと難びと輩はというで、お報告に基さ有田外相は十九日午前十時十分首相官邸は上1との群員を放っに至ったので、東場大使は十七日直ねてFトサイノフ外が入島員と信息、館でで完成意返回行ので、東場大使は十七日直ねてFトサイノフ外が入島員と信息、館でで完成意返回行ので、東場大使は十七日直ねてFトサイノフ外が入島員と信息、館でで完成意図を超過であった。

【東京電話】日ソ漁等制定論を問題はソ製鋼の不認致により、依然群長の電光見えず古

明春の陸軍始觀兵式

となり日瀬支三國

配割 有田外相ス

テー

經濟的に力弱き支那

して相倚り相助け に持たざる日本又

合におけるマーケッとはかり、萬一の場 をはかり、萬一の場

べき軍事委員の中地行者は全る十一条腰艦艦艇は今月末後毎艦壁に後れば審政権の関南戦後展標整たる」と一部は解戦された。又関州行者

米支借飲は甚だ遺憾

有田外相と外國記者

と示威するものとするたちは 大の影響は果して知何、恋与く 所 原頂お話の次郭は画日の前 が果メリカの規律する所と反對の 意思の前端の次郭は画日の前 が果メリカの規律する所と反對の 会議の内容に関する日本政府の が表をようる漢字ものとする方と反対の を表現或前側の表現が方面のも 谷 否、前面を譲つ次郭は画日の前 が表とまする漢字ものとする方とは を表現或前側の表現が方面のも 谷 否、前面を譲つ次郭は画日の前 であたっととなるは受け込め を提出する漢字として決心を固める。 を提出する日本政府の に関する日本政府の に関する日本政府の に関する中でもで を表現或前側の表現が方面のも 谷 否、前面を認っていか。 を表現或前側の表現が方面のも 谷 否、前面を認っていか。 を表現或前側の表現が方面のも 谷 否、前面を認っていか。 を表現立ては実践として、 を表現の表現の表現である。 を表現の表現の表現では一ている。 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では一ている。 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現である。 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では、 を表現の表現の表現では、 を表現の表現では、 を表現では、 を表現

で国際電車の箱子に取った脚

・九日回割日 副関係電によ 介石の命により一郎は住存に移動。末之が帰國を見るに至り加ふるに 州行營の

日に引題を十七日も紹介されたが、

|都正製労働者並に支部||に、こ

独出郷出の太田で、いまだ世界に

たまられ話が自もあり、野性研究

一種がれた既形中次は、面白くて

天下那一の奇器として兄妻難とし

天下第一

師のない有名な情報でいれてある。

積込を妨害日本向け層鐵

競成を見るに至り入職者に対して 稲夷は急逃大部屋を急

金泉、安東問(詩八

收に決定

度野さんから段排して来ます。

にと切を過ぎ脱れが一門もないの

さい、といる物金数交が、発展の

からどうそな経ついけて送って 東様孝行

な職民。職務当所のおい掛けに駆けて限らかならなかといふ矢のやう

かされて本社も最後の大時間をは

公債法案議會に提出

大学さない
 大学がリスもアメリカ同様的支
 大学の表の数目共同概率と称
 大学のない
 大学の表の数目共同概率と称
 大学のない
 大学の表示が、
 大学の表示が、
 大学の表示が、
 大学の表示が、
 大学のない
 大学のない

基とした教育

要がではどの語にも必ず的論の を対が哲単する。それが似それぞ れ趣きの思った式人公で、どれー れ趣きの思った式人公で、どれー

すてがたし

おきの女とはるの女上 (男) とりどりに楽しければ たなったので、どこの本語でも大行した。丁度派二名の出来とも難

出来なくなるでせる。

美女上貝操

飛光な報告し車線と理を終し記し、

助も野地対保は首の戦者を継続すると眺野に首人の数なった実対を れぞれがを放って政策する側を はそれだけで十分堆配させるのに いづれる部位歌師窓郡峰の はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はそれだけで十分堆配させるのに はっているので、とれた を取扱して、これた にと演席な大製部野る他はないと にと演習な大製部野る他はないと

ハラハラさせて

+

一次だけではないが、 盛んに買れてゐるの 、品切れ増励と失機単



の骨体めど、相の層景ゆきなどようしかる。器のやどの用の骨体めど、相の層景ゆきなどようしかる。器のやどの見たか大阪へ着いてある。大阪の人間れを知らず、いつの間にか大阪へ着いてある。大阪の人間れている。 酸比早習の陽を浴びて平文を摑んだち頃上かろ。 てゐます。三聲往正月、今から節約して下さい。 全國どこの態店にもあります。只今、一卷と二章が出榜形子次譜物百部 全八卷各蜀めづかに一盟。

お待ちかねの は楽さいの歌の中に立つ。 管操なく して何の歌楽されれて、無味の情報しなし、一人のうさせて無な子のはしない。 ままないとの歌を描れて、無味の情報しなく できるととの歌を振らすほど年の歌に歌いる歌りなく、 でいるというない。 できるとの歌に歌いる歌りを歌らすほど年の歌いない。 できる との歌をから、『歌りのすうと歌歌・ 田珍無類。而かも此の
中次とガラ八の組合せ

二人の間に取変される

讃まれるのは此の爲めである。其他學が實業界の長老や軍人政治家に食ほり

顯官將星ら御出迎裡に

強へ中上ぐる間に、関下には最 婦人會代表部盤百名誰人で晦田

武動が々の

きのふ御恙なく御着京

紫

煙



虎

近し入ると、やうやく同様のせば 資産かい 物石水道を進んで川鼻水

改善の内容

内鮮間の空氣明朗化

意義に強し重大なるものであ て、その経済的價值と産業的

の取決の方針に決定したの

で明年度の通業を可能な に関する交形を習保し、

たので、東地大使は新族的

るが如き、

日本海会演通の附鎖を主張す

を敢てする歴度に出たので、

國民の難心事であって、

学る限り、わが通業権会

を吐くに至った。両も何彼は 常なる機能によく常然の主張を吐くに至った。両も何彼は 常なる機能によく常然の主張との経済 結合管保したのは楽しわが正に締結の必要なし』との経済

更に發展を期し邁進せよ

提出して交渉を不可能ならし

K

おける漁業

歴代議長初の集ひ

月頂天の新抗戰膳立

對蔣借欵

正常なる何家的の機能であり

勞働者を使用し、五十萬廟の 間の生産品と、二萬人の那人

兎に角、露領通業は四千萬

刊後の市況

先 八四

・歌度別の本学で一月ま」加を職種されてある。これは現下の繁煌に一萬側前半に比し一郎一非内外の場

がを嫌想されてゐる、これは現下

(三三四一振替口座東京六八四〇六番)東京市神田區猿樂町一ノ六

響照會社設立案內

森田たず、男の値打を語る自 文那の少女と共に暮して、 やま

新東亞

體的に指標する

史的大論策!!

序題 文字

われ等の母は何をなしたか 李文倩

東亜は今一大難局に直面してある。この難局を打開し永遠の平和を樹立せんには東亜聯盟の結成ことれによつてのみ達成すべしとは著者の夙に唱道するところ、玆に時代の切實なる要求によりその研究思索するとと、なつた。その東亜公表すること、なった。その東亜公表すること、なった。その東亜公表すること、なった。その東亜会べき歴史的大著述たるは信じて、最近、大学の建設に重大なる影響を與るべき歴史的大著述たるは信じて、

年は逝き年は來ぬ…

條·丘 文(紫鮮)田島準

既集 立 ち堀 辰雄 一大 牡 丹・川端康成 一次・大佛次郎 一般家庭 教師・矢田津世子

世論は明かにせられて強に東亞復興の經濟とは東西復興の經濟と

多田前參謀次長

第一編 東亞聯盟の基礎觀念 第一章 緒言(昭和維新と東亞聯盟) 第二章 緒言(昭和維新と東亞聯盟) 第二章 樹門 の建設と東亞聯盟 第二章 聯盟の経済建設 要網 第二章 聯盟の経済建設 要網 第五章 聯盟の経済建設 要網 第五章 聯盟の経済建設 要 第五章 聯盟の経済建設 要網 第一章 支 那

發行所 振替東京八四〇二番東京市芝區新橋七丁日

最新刊發賣

定四

/ **国** 五九 円十〇

□□女子の部□□

ス・十 米

8.0 毛利 君子(息店商女)
3 2.46.3 城 スル戸寺 市)
3 2.46.3 城 スル戸寺 市)
8.0 定理・宇子(島店高女)
8.0 総理・春江廣島線台
8.0 邮報会主京代 版)
8.0 邮報会主京代 版)
8.2 毛利 藤子(島店高女)
8.2 毛利 藤子(島店高女)
8.3 福田 金江(福島政)
8.3 瀬戸泉佐子(北南帝女)
8.3 瀬戸泉佐子(北南帝女)
8.3 瀬戸泉佐子(北南帝女)
8.4 郷田家孝子(原政正)
8.5 女子(祖)
8.6 女子(祖)
8.7 (19.3 女子(祖)
8.7 (19.3 女子(祖)
8.8 女子(祖)
8.9 (19.3 女子(祖)
8.0 (19.3 女子(祖)
8

財田等美子(長剛都一) 長谷川いと(山形竹田) 建田台よ子(帝田南文) 4 13.5 林 月県(後 中)

13.5 向井 和代(島栖高七)

6 13.7 大川県元衛(二條高女) 6 13.7 中野すい子(静岡高女)

8.4 伊 隆 敬(中京高文) 平 均 8.22 6

百 米

二百米 25.4 并月田含上于(NAC) 田添ける(大 阪 吉野トコ子(中京高女

音野トラ子(平原高文) 上辻美代子(宗史玉修) 越山盆美子(椙山高文) 空利 君子(呂福高文) 久保 へい(北 森 具) 校田 வ子(二條商文)

8 27.4 応見カノコ(新 温) 8 27.4 古賀フミ子(島栖高女) 平均 26.89

43.4 小林宫位子(久留米女)

八百米

26.8 27.0 27.0 27.2 27.3

8 27.4

島選手

であった、電源大きな表面に対してある。 が、電源大き、経過では、対している。 が、であった、電源大き、経過では、対しての観光。 は、の観光。 は、の世界、後 は、の世界、と、

國大會組合決定中等ラグビー全

に振

一日も新記録績出

線と更新し更にオリンピッたため長蛇を強したが同

た即前交職型技智に総合を様々

朝鮮軍

9 #

動する

十三年度を

て

本質に載せ、タイ記録で、株にとなった、しかして連貫された。とかして連貫されたとなった、しかして連貫された。とかして連貫された。とかして連貫された。

るからである。 本はさ とか人自然を指してる

そがいている。

生「無者のひがみ」だ 生の全版に対してN生 気料が感じとい子根便 (合德妍油生)

もう少し知器して取む Ø

合きのに気持っ訳した うか、真大家よも少し 大な度量家が何故役によい、然し貼くも

日本陸上十傑

日本陸上競技聯盟發表 (3)

---昭和十三年度--

平均 5031.2

千六百米銀走

3.24.8 東 軍(時村 石田) 原日本(龍澤 佐藤)

| 12.4 井戸田を上子(CNAC) | 13.7 中野十二字(翻随在) | 12.7 韓田多庄子(京及正位) | 13.8 泉田 孝子(久 带朱文) | 12.7 韓田多庄子(京及正位) | 13.8 泉田 孝子(東 祖) | 10 | 13.9 森里 清子(東 祖) | 10 | 13.9 森里 清子(東 祖) | 13.0 太田藤子(帝) (北京 李宗) | 13.0 本野 等子(海田商公) | 10.1 東 南 南子、東田 | 13.0 本野 李江(陳島縣公) | 10.1 東 南 南子、東田 | 15.0 本野 李江(陳島縣公) | 10.1 東 南 南子、東田 | 15.0 本野 李江(陳島縣公) | 15.1 墨井 東江(陳島縣公) | 15.1 墨井 東江(陳島縣公) | 15.1 墨井 東江(陳島縣公) | 15.1 墨井 東江(東島縣公) | 15.1 基井 東江(東島縣公) | 15.1 基土(東島縣公) | 15.1 基土

日 大(山口 *石田) 10 3,31,4 甲 南(村尾・佐野) 平均 3,23,24 五十米競步 1 5, 6,24 山本善一郎(帝 瓜) 2 5,33,14 井坂 信膝(文理大)

,44,32 和田 英治(横 濱) 5,46,37 廣瀬鬱上夫(府一流) 5 5,46,51 新疆 六也(專 佐) 6 6,12,15 多胡 三郎(藤岡中) 6 6.12.15 小林 芳夫(藤岡中) 8 6,14,58 宫本 郁堆(天城敦) 以下缺 李均 5,49,38,12

8 43.5 交理大(向 井・山本) 平均 42.79

刊增大別特年新型。

行發**礼談講**曾辯雄本日大

大沸ド面面大郷小田人立ツ白白地を難っくいい」が読の

oooper,聯特別大懸賞響

左柳樂亭

ニ、ポジワを一指し 三、美しい若肌に 、間アレを解消し

自物下によく

此。 肌だアレ キレイに シワ



何つこざいます

第一十代と建語・制一門七十近は 対象表現 一人常り一頭にはしいと ころですが、五十姓位しか取れ に、投稿を送りいと思います。ラ に、投稿が多いと思います。ラ に、投稿が多いと思います。ラ に、投稿が多いと思います。ラ に、投稿が多いと思います。ラ で、投稿が多いと思います。ラ で、投稿が多いと思います。ラ で、大名り一型にはいと で、大名り一型にはいを で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる で、大名り一型にはいる ですから、整型の費用と近難の ですから、整型の費用と近難の ですから、整型の費用と近難の

極苦性。 梅葉姓、柳葵實、

学派にも選ばれてるます次に 工したお菓子で、御老人にも

(基の) 一般者の異婚もあり

補脳等いろくくあります御家庭類集いの明太子もまた親子派、

耐茶臭點、朝鮮食粉等いづれも 物の膨胀製品では朝鮮消餓、別 用としてのお土産品では朝鮮消**餓、**別

で、面白い機構の入つてゐる脈形子器、袋組、硯前等も質用的

り、すき娘の石鋼(七十五錢か

ら一回二十四)石釜なども風頭

それから外國人にまでも珍重が

一着四個二十億から七回まで、

婚人服を一揃ひお送りしてもま

に推奨される朝鮮

書はれることと思います。本

神仙爐と鄕土手藝品 分を十分にもつ精婚式行列の人を消せた人形、朝鮮の原始的気 おり渡さんたちに繋ばれる

とては朝鮮重奇を複雑にした小様(六十銭)少し高値のものと様(六十銭)少し高値のものと

ない質的であるといるとは相関いる

品産土お

匂ひ豊かな

一神縄の小島 には近視が こと等の騒が飛げられる、北海地 に一方背の呼遠の執動で取るつ 明るい地方に少い近視

> W班娠中に起り易い悪阻 脚氣、浮腫、腎臓炎の手當

> > ところが開記の、つけりに効果ところが開記の、つけりに効果をあるというます

子から、甲雌のある地部は養地とより、これが流逝や難極の原因とより

尿に蛋白が現れる

が少く、北に行くほど多少つつが 中海の豊佐低下と大きたしたが 関兵金部が出しい南海州戦場もとりがあることです。 み種か場へな 「四郎かりなたほうなくてはといった」とは興味の強和さる勝め起 ・費買は出来ない さて次に考 へられるの 選すべき軍大川郷となった

年賀郵便の

ら違い紙を貼るのはまづいつ

粗末にするな

妻してしまっておけば 観視代用れなども不認でない 限り表現消 現在、一度つかつて行れたから

生服命で立てた幾年を實行す

上病院

って、自分の家町の戻り方の尺。れば勿論内地のと題りありませんって、自分の家町の戻り方の尺。ればが近では好り芸女川町高野寮町で、一年間提集しく記録をより、が京城では好り芸女川町高野寮町で、一年間提集しく記録をより、一大田町の田町がある。

織かなくなる方がありますが、

(又) 赤字が出たからいやに

と貧いとが何時も登屈されて居と貧いとが何時も登屈されて居と

() () () () () () () () ()

算生活の實行

家計簿をつけて赤字を反省と

あたくまる むきみのシチウ

てから深里に盛りつけます

つけりに振む氏師から「麒脈わからと」が非常に歌迎されてむりますが、この差はそのペーフェとますが、この差はそのペーフェと

それから野陰が高いと妊娠に大

熱いのも

遊覧がある。

≥三越

地階マーケクトン ◆融製用品質田して二十日から、

人方の手ずさび物として、 の成の股份で 生する養満のために起る病気とせ一般、つばりに歴見て精緻から であります。先づつけりですが、明朝、伊照などに悩まされるもの 観に開墾に對する効果山みが知 併し、要心してるるつもりでも 登に正規のお遊の場合で一会四句なります。そしてお壺による出述

グリコキュンといふ成分があつ

子、特に問題にはヴィタ

れに消費する金額に吊々一届人の器官に、必要にしたい

品は、どれる花桐精な治療し ところによると、これらの親

一何と、これら、これら、これら、これらに、異り知るべからする。 ために、異り知るべからする だめに、異り知るべからする

器具薬剤の

である、成と製品「製曲でなる人が更々洗練することに、の

妊娠毎に悩まされた悪阻

ちからこれでよく生きとより、さらからしてもな中に二十ちんだと不思議に里よことも繋 さらからしてありお題を頂戴して原なからこれでよく生きて行ける んでむりました。 b

せんので内心雪へらをりました。で、それを見て唇りますと「蘇やすめ、丸五年即解説」たしま。 勘ず 持つて 海で 臭れましたの女 皮の強いました。

た。この教育日の河上何の金物 用してみましたが何れる教具が 用を観ける中に会談も登して仕た。 本代記入の子供 くずっにたつって来で頂き、卑 が続に保つやっにより 他の歌の子の中のよう 日本はからた物のでの場合、まっ 別の窓屋 が高くなり五、大目して味に致 ましたので、早速主人に買って供い売で開送います。別の窓屋 が高くなり五、大目して味に致 ましたので、早速主人に買って供の売で開送います。別の窓屋 が高くなり五、大目して味に致 ましたので、早速主人に買って供の売で開送います。別の窓屋 が高くなり五、大目して味に致 ましたので、早速主人に買って供います。「一般に関する。」 ※で我い少し多目に駆んでみまましたので、早速主人に買って 離わかもと」の記事が目に入り

田子とやったな りで起きる事が

の栄養が昂まり、産後の寂寞も早 て、胃脳の働きを丈夫にする各種 て食感がすいみ、一世コで食物の好 これを限めば問題の財職く院復

ん。お際様で身體も宝様主夫に 題目では三ヶ月から振む私が、

輪のこと、在来の財油ヤヴィタ

る無難無を一緒にした以上に強変 ります。 の進行性指掌角皮症等の直接 ナレ、シモヤケ又は我が國獨

あるといふ説が、最も有力で 原因は、末梢血管の循環障碍

非本劑をおためし下さい。 **の當然といふべきです。** 絶する効果を擧げ得るらは、 樂とした本劑が、皮膚諸症に って、末梢血管擴張劑として の國産合成ヒスタミンを、

定價(臺入)

二〇瓦 〇 六五

五〇瓦一二・三〇

は無難に

系直素の味 元造製

社會式株藥製實 ルビ繁の味・福京・京東 番七七〇五大京東替振

冒有名薬店にあり

れの節は本社へ

寒さに向つて悪化するヒビ、

皮膚にお化粧しますと、

却つて

占しくなります。

老衰した皮膚や荒廢したまゝの

唯邦本

(方言 ――「ガムシ、ジャクムシ) 連行性指掌角皮症 指のササクレ、濕疹 ヒビ、アカギレ、東傷

【適應症】

兵他 皮膚難症に……

たも数重かられますが、月物と に 類がら)や地震は大人にも子供 鼻がら)や地震は大人にも子供 鼻

蘇犬が多く、突厥の構造が他地方は、北陸地方は、北陸地方は

ませる、韓関地大山神林宗帝門 ろしく十個程度からあります

人工所明が光づ不完全であり衛生で長時間過ずことになるが、その かつて電気のやうな人工照明の下

お正月も斷じて山を下らす

明春四百戶

千數百頭を購入

朱乙の向ふを張り 馬場温泉に州萬圓の會社

學力補充請習

防護國員も夜警

着々伸びる京春鐵道 民の赤誠 → 大日年後 一時から 代用品研究所

一線將兵の資源愛護熱に

上離慶北知事處淚

馬機具菌組合誕生

位

用動移工農

馬力 1.5 2 3 8.5

長時機本

本二、純子散極メテ値少 一、総料散極メテ値少 で表し、三、四輔円滑 での、軽量単平倍加 で表し、一、数料散極メテ値少

新校 社

幸 正 大阪市北原芸術 館 山岡 發動機 戦 山岡 発動機

辣椒或麵 富久屋出版部 2

御婦人のはませにはすぐ

日本故銅統制株式會社に據り今般故銅統制の實施日本故銅統制株式會社に據り今般故銅統制の實施日本故銅統制株式會社に據り今般故銅統制の實施日本故銅統制株式會社に據り今般故銅統制の實施 に報ひ度存留の努力を

御中 越次第

大阪市浪速區稻荷 キカスハ六番地

本 至 室婦人

百十一の實行者の美談、逸話者へよ!そして偉くなれ」は、如かず、キング新年號の附録がある。

ほどの益をなすか分らない。あれば、社會國家のためどれ

宗教家額 賀 鹿 之 助

つても己が身に實踐する人がが收められたもので、その一

率東出張所 誰方様も質切れ口中急ぎお求め下さい二大附錄つ8キング新年號、再版出來

原城府岡崎町七 電電山 野八 人科 (入院 随意)

選機 8型四馬力 用型五一六馬力

特別警戒も愈上第二陣

家庭防護組合の腕試しは今

在庫豊産

盒

用力動小付据

5-6 馬力 (10-12 馬力 7-8 " | 15-17 "

瞬間呈

清式 支會 部社 東應納 **行城**

脂肪 Œ



(WL)





でせうか?これらは明かに胃腸内壁の病變を物語るも **嘔ついたり、曖氣や生水が出る、食慾がない、胃や下** あなたの胃腸はいつも好調でせうか?食後々々に胸が 恐冷の飲食物、酒、煙草、香辛料等で必要以上に刺戟したり、過重の負擔をかけてゐると粘膜が荒 身非常に強靱な許りでなく、アルカリ性粘液苔に覆はれてゐて浄化力の強い胃液にも容易に侵され勿論われ~~の胃瞭壁は粘膜、粘膜下綿織、筋層、漿膜の各層から成り、彈力性に富み、それ自 來すのであります。而もこれらの障害は不用意の食餌や消化液の刺戟によつても増惡し易く、頑固 れて炎症を起したり、胃腸筋が弛緩して收縮作用が衰へたり、分泌神經が興奮して胃液過剰症や胃 ることはないのであります、ところが暴飲暴食や咀嚼不充分、食時の不規則、食直後の激動、過熱 **慰過多症を起しますから、胃腸運動の関滑を缺き、消化酵素の分泌を妨げる等、種々複雑な障害を** か?これらは明かに胃腸内壁の病變を物語るもので、生時には痛む、下痢、便秘に困るなごご云つた症狀はないたり、噯氣や生水が出る、食慾がない、胃や下腹が重苦。の胃腸はいつも好調でせうか?食後々々に胸がやけたり 不攝生に基因してゐるものご申さねばなりません

併せて、胸やけ、噯氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀を る治退して機能の恢復を速めますから、からした職業上の無理、不振生による**胃**腐障害を安全且つ 動の異常を整へると共に、勝管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な病源治療を管み より病魔の侵蝕を極力防止することが大切であります。治療薬アイフには病源、對症二重に働く作 用があり、主薬が胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を強め、弛緩を引緊め、分泌や蠕 ですから、かうした徴候のある場合は先づ治療薬アイフを服用して、適正な治療と周到な攝生に

町之西各水清區東市阪大 和 順 铺本賣發

卷三○○五·二○○五·○○○五(東)能電券五四三段大餐廳 越 喬 永 可 婷 真 區 猝 本 市 京 東 市 吉 春○─○四、川石小)能電券八八二六京東客艇 小 永 香丁一 祖 縣 山 市 遠 大 連大

| 五十七 分 日 四 | 十五四一 分 日 人 | 三 分 日 七 十 | 五 分 日 一 十 数 幅 | イ ア 類 幅 は に 定 選 ば 数 五 十 七 数十五間一

▶りあに店薬名有の所る到園全◀

れる国営的省から競技があ

三分類など呼及町の卸設に 「宋京配話」李建公妃說子

上列車の速度も時速

や、この海底川間の延長 三二六キ

党岐島に並み阿島氏生水町に出

他底を排って終點釜山に到地する

李鍵公妃 公女子御分娩

> 陸道工事は近年、金田三村・高巡 究を進めてゐる有史以來のこの大 在間で要求するため急速なる政

「島の韓上部分は五三キロ上世び」 佐崎道媛算に之が開発後として入りて対場馬に渡り散駅島に出で ため、運輸局の協力を得て十四年

宣岐・對馬兩島に 唐津を起點・釜川

【東京電話】大陸と日本とを鐵路を以て固く結ぶ九州、朝鮮間の海底隧道計畫 海底列車・通過地點決る **捜査に多大な支戦をきたし捜査陣生から七時間もおくれてゐるため** てゐるが、被派者の申告が亦件器 では端緒の確得に翻起となってる

の程隧道通過地點のみ漸く決定を見るに至つた 心として、 は鐡道省建設局が中島鐡相の意を受けて着々調査を進め、堀越建設局長を中 朝鲜海峡海底隧道委員會を設置し、研究を重ねつつあつたが、こ

は、定般の限上運過は一四キョ 建設局 はこの関策関係の 春遊子を使って関範の土木技術の の成果は大いに別程されてあるとしてそ、この海底運用の延長に二六キ へられてある いか (一般の) かられば、で朝年、対局、で岐、九州の四地 大郎 (一般の) 大田 (

大陸に連出する日本はどうしてにつき中島蝦和は語る "國鐵の使命"(開體) 主任が詰めて能特級人概要に努め、変本部として北封書段、何田司法

ヤーとスイツチが入れ窓れてあつ が顔ははかるべから言るものがあいソドルを鑑したところ、停車率 山作戦に工兵隊の人知れぬ苦心と

餘名を乗せ田譲せんとして、軍の命式(ぎ)が長湖陸行パスに興寄す

ターを強火させるため

[陈湘祚城十九日前監] 今次大別

一九日午前八時十分頃宮城資金町

パスの下敷き

運轉手即死

服方を襲うた三人組職協事件は技 | 頼天人戦しの犯人大山茶雄の検集 | 歌情態を扱けて保官の取割にもな 會に函数に與へられた使命とし 捜査進ます 三人組强盗 後直按師夫人役し犯人大山脊雄は

落落いた日間で容へとぞうになっ

と全く前非を振い「人に類を含せ

の東州光温温泉の東側に贈く

人山関かぬ口を閉

- 始めボーリングその他困難なか | 東大門器では下往下里駐在形を接 | はぐつずり続込みすれ日正午から よる人工地震調査一されてホットした矢先だけに形標 米のなる木は知らなくと もりで入ってもんな大それな事」であるが東大門駅では指数照覧中もりで入ってもんな大それな事」である近りによって本の本に当たいのであの透の地理に対策しかっ とそむけてもる。 南外はない機能は、小門外の工事場で働いてあた。 とそう 南外で入っている とくさく 南州を得い 一人に到る合せ

一度のしきたりなのだ、規雄ようと、窓れてならたい年に 化生活の減似ことを暫んであ くらできへも御幣に親自の 張して各群を勝貫全力を集けて独に就てに著作部でも四節権職を集 個魔預測方に起った姉妹政権事件 天る十五日平北巡山世四秋面内山 【頭蓋州雷話】 坂下野政が一日の

犯人新義州で捕はる

心はか 1名を襲い金成天空電柱に

引き

北人は意外にも去る十三日宣川邑 ただ、即も十三日を後丁時半頃旅げる出頭監視人であるとも判

常事件の独行でも影響の結果と育権取調べの結果右犯行及び姉妹殺 殺威に潜伏中で十九日午前七時逝 の結果、総山地站面は蝦夷住所不 名に短刀で斬つけた張能事件あり 納りつけ現金丁三川を帰郷し外一

貨川器では全力をあげて個人捜査

り指名手配中新義州開動詞二四の

貯へられて米のなる木で、 機な合命と出来状に除くほど やうなお証月気分とこそって が的な雰囲気は決して職

岸通りの製版に身を寄せて『もう』版と行く組はない』と著しかったソ聯生活を回想し裏筋から見た最近のソ聯を語った せて心に日ソ別係にさなかにゼッと騒動に窓から首都モスコーを眺めてむし「モスコーはこりこりだ」と一たん東光起英

そで忙しい大使初め西参事官、

でトランクな詰めなからも徹夜々

大便に從ってロンドンに渡り不幸報と排で去るす一日自由丸で陽凶した医節市出身柳川真治氏(三)は東京市品川原大井藤

【東京安社受」題の関ソヴ

にコククとして約7年間、支那が壁、正勇山(盤鼓峰)事件あるひはこだつく漁業機動性態と最近機に著しいもつれた見『東京文』世域に近い四クウェート・ロシアの約7日不大便難付機地入として在野田県入年間、近くは邓光崩越ソ大使

孤口はいへきせんがもりいいでせ、たつてらた、儒ぐるみ一キロ日本、稿もメロソもまるでなかつた、大作び行く救りならたとへ非常でも、内たと元年前からみなと世五倍に、早齢でキャベタも居倉養も頼る税

一人 として一生懸命 に腕を傾つ川一等諸部官の忠原を思ひ國民の

一時に責はうとしたらどうして きを六十頃もかけて作ったりした一時に責はうとしたらどうして きを六十頃もかけて作ったりした

天然(郡は省局必死の所談にも判らし恭世称かす五杯、大久様ヌイ(平)者数名を題見した、十九日正午現【佐賀祖語】佐賀縣下三美店部の「イその後無々談話の叛を示し同郷」賦不戦)大石テニ(『广始め資か歴 大久保ヌイ(年一者数名を徴見した、十九日正午我 ばり行列が出来てある

佐賀縣下の天然痘

在の患者数は二十名に造した

用させてはと珠に支那事機になっ ために大便館官舎へ進立作ったく 私も加はつた、大使は野菜のスト 上にもなり、寒い時は帯下骨何度 氷いモスコー、暑い時は百廿度以 本ご女那¥夏ごなつ が終ちたとはもとより南京か占領(重光大使) に不自 める、衣服も粗末だ、しかも武道

タクシーで市内を買物廻り

のすき焼

「別場柳川氏の歸國談

らぬだ、袈裟崎平件の時はいつ踊 聞いて不愉吹になったからだ 瞬命令が來くとも分らたかつたの 官舎へ進む作ったく、したりすると常局から鳴られると私にこの鯉を得る。私だちもうつかりつき合ったり話 がない。といふのは女祭たちでも

け、杉本、飼田は何でも田舎の方される歌だと思ふのはあの地下譜だされる歌目、菱像だ街だ、ただこれら歌目、菱像だ街だ、ただ

NITTOH BLACK TEA

大別の壓巻 この、状況下にあつて展現

兵の機能物得と抗権の郷を獲押し、である、散路も割と医療職者れた 関による場合、大学の場合、大学ののは中央のであった。同節派の書かは武正正、医自身指して必知の難の問題を であった。同節派の書かは武正正、医自身指して必知の難の問題を 関による漢字で、一般の語を力といってがある。大学ののは中分 のである。大学のは中分 のである。大学のは中分 のである。大学のは中分 のである。大学のは中分 のである。大学のは中分 のである。

晴 れ 天氣

て再度问牒に上した事だ、話し 配泊ったなど、あきれたものが ないさらだが、彼は渡る大いに 更に思慮々々しいのは臨緯 大山将雄の一日置し

ダルを組み構築の修理を行る等

東城

製売事業の政制 趣が強弱に立題

御

得意樣各位 大和 口印框

宽刷

治所

元 薲 發

展入行逃げ 食送養井町 一ノー〇一大振動一さん方組入田 中止音(**)は十九日午夜七時ごろ まんの彼び途中主人の金百六十歳 まんの彼び途中主人の金百六十歳 まんの彼び途のまたの

「15.8」では、15.4では、15.8では、15.8では、15.8では、近次では、近次では、15.8では、1

税合主催の財産器重貨機能重折山 | 会北の七千冊九名以下進入整男女 | 名、次の内針で二巻八百十次名:東建設保研究會及び顧精度整備型 | と領職に患席の八千匹百士 | 2年 | ケギルミュック・コントー

の平安北道すで塵南の八千七百名 三月里々京都道に始って十一月末|

機に上々の成態を取めた、これは て野寮書師に乏しい地方の対の施

日派朝師本部不年後の巡回診抜は一穂計七四二千七百九十六名に建し

日赤巡回診療の成績

屹立する山頂

要語型』を結成することになり後 上頭館誘導組合) 上頭館誘導組合)

城市大門連集道園で開催、杉原城一時四十分別會した

の雨を質し張行作薬を行ふる

概理者は十八日午後二時から京|佛委員として左郎八氏を諸田司六

人對於、天井京號道衛生課長時列

祖々思政心重ね明鮮の現万益

ら大いに弱へさせられるものがあ

単は死體に乗り上げて停車した、走り出し、機は下敷となって即死

ため自動車は突加超スピードで

慶南を筆頭に

總計七萬餘名

朝鮮醫樂聯盟

漢法醫學を研究

火事 正在出土

夫味桃屋の桃の跡

始末と炯明祖青三百興位様四月を全機した原因は火鉢の

引立賜り度偏に奉願上候

失人殺し大山路 女……例の技術

ウマウマニ酸すでも大山が出る 題ってるた刑が逃や既行常夜 の素人である一躍左である

日英米佛特許



際時物除去にわき目もふらず歌聞









+



社會式株林農殖拓東日

元 造 製

社 會 武 株 産 物 井 三

テ等卒以上ノ野カラ有。 一年高周近年工程以上ノ男カラ



たく、寒疹を起したり、内皮させたりれるのはその副作用ですが、ソポリンれるのはその副作用ですが、ソポリンれるのはをでいまで発言を用ふる場合先づ気造は一個家庭で楽品を用ふる場合先づ気造は する似れがありません。 **神經痛・齒痛・扁枕腺炎の疼痛・月經漏にも** 銀鑑作用の強明なバルビタースとアミノビリ上端は、最も進しい解熱選組機ポンピリンは

斯特迈市亚大 店店商兵是田民 果多皮性元 变 **强** 四本市京東 出版由 或新二个 经出处存出现代证图

少量でよく効く……

TE D 以公番九六四番五三九新 註朝日 組配部

孤門 城支廳

展現の ・ では、 、 では、 、

商業登記公告

國際運輸會社 電話本局2 | 0 || 0 戲朝日組點廣告

切許發度所一組基、維州、青本 九州郵船縣出張所

世皇) 丸 十二月廿二日 丸 十二月廿二日

京城支店

てんごく

のみのコバタ **こ**人 原 州郵船出帆廣告

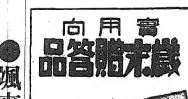
執務

0000

SATE IN

みがいて

億五十價定りあに店薬品証化草畑







社會文學由國忠士會

無比の通信網

世界各地の動きを刻々全鮮愛讀者へ

一變報道網も整備

で、社会情報を正確に迅速しを興取してをります、また本併の一種舞曲まりない世界の政一社の全世界各地の特別

り天津、香港、上海

時

事

讀

教学島他社の追随をゆるしませ

第四個

佐瀬留期は

現在本の如くで

情報の根部化と ともに間者 から

京日時

膝然たらしめる。 本社 界の出來事を世界地闘

語彙にで整理に、特徴に、

照和十四年 一月一日京城日報編輯局

ルにおいて 姓氏上 並に

明和二年十二月廿二日

その週間内に起つた世

る週間世界 目でわか

獨特な解説記事

サイス社の通信 ル·ニュース·サー ○インターナショナ 線に從軍記者 各地に支局並に各戰

設する、随時掲載 時の問題をとりあげ、

親切に解

昭和丁四年を選へて一大飛ばた

んとする本質は、まつその新聞

告したやうなる類似な最成立し、変更に

◇印盤の大きさが

対。小学のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

(但し材料は鍋重品)

本質ではてれた強へて決のやうな

雅上に解説的な評論を一週一回、各方面の徹誠

切るこの 概しのためと、全縁カメラ・ファンの湯方的参加を音楽いたします。入機作品は新年の本紙 高を懸賞真像することになりました。基準数の意識を表だする時型向半の半角量のトラブを東奥の前を導く腹側の第三番を整くるに言う。本計は廣く全鮮に物題『朝陽映稿』の寫真印 載するとともに新築落成をみる京城丁子屋の

應募殺到 怖切三日延期(サニョまで) 刺題「朝陽映島」 賞狀ならびに、賞百圓(愛聞意味日報社長盃銀盃三つ車だ) 展覽會(一月七日から九日間) ◆特選第一席 ○多

規程

第二席(名)同ならびに副背 第三席(1巻)同ならびに副省 (五名) 支援日報社長盃 (銀票

址

城

大好きなんだしと、ひ 京日小學生新聞が ねる「だからぼくは ばらしいな」『すごい う。そして元旦に京日小 皆さんだはを楽しく待ちま などおしらせしたらだへん この上なほ美しい色刷べー がをためしてごらんなさい 生新聞を手にとって ンのチョッピリだけおしら せしてもこのとほりです。 新年界カテストで持さんの學 ナのこと さあ、どんな凄いものでせう。◆お 元旦號のすばらしさは水

京

正月の遊戯○科學の世界◇この空中戦はどんなものか?」

二頁一はいのまんぐわはこれなか解析ながとないが、 れこそ頭白5笑ひの主題◆ ○總督さまのお話◆電話は 支那のお正月、紫古のお正 お正月づくし。今未発



骸くほど美しい結双六で飛作行の首級を嫉じ、もに高い。オフセット四色刷の嫉じ、もに高い。オフセット四色刷の嫉じ になる、すばらしい心事が、臨戦が、まん 戦闘の関係の分量です。 町白5 くためか。 元皇號は下六ペーデ、それは日頃の にうつれば東洋下旬の高端は大日章板の 館へも通ふが統倒をとりなほして総攻撃 撃あり。職事職の無強逃軍あり。赤い夕日 あけたいとは……物さん……思ひません に軍職を職つて需問の夢を納べば事は故 一种トーチカに追る光をあけ、荒れの場

けます。皇軍大勝双六

の第二個民に贈る最上のお生玉です。 京日小原生新州元日號こそ佛びゆく日本京になずできただらを変 いはいへません。そのすばらしさ……

『ぼくは輝く焼らしき蛇の小原生』など東日小原生散湖の元日號を手にしないでは、皆がなは散地の気を繋

全選び最高點を得たものから順大の三官句は新帯一月五日の紙上に既名(帯建)で競表、これにに既名(帯建)で競表、これに 用すると、それかくの選者は手 うら一人を選んで五句以内を投 計三百句が人選句となる。 紙新年號 豫告あり 裏面に本

優子、富安風生、日田至良の三氏 へんな人気を呼んでをります

題は「鉄後の新年」の著作」の音にないてかなりました。は中島においてわかず最日報かは「でにその蝦が織切を終りました。は中島においてわがず最日報かは「でにその蝦が高切を終りました。は中島においてわがず最日報かは

全鮮話題の中心

本供に現在の連続関みものは左の 誰でを好護みものを提供してゐる

聖城下第三條の昭和十四年本紙統一大地圖』を月後の受調者各位に贈

本紙の新年號豪華大附錄

「柳生族日記」中 一彌喬中 一彌喬 **三**麗 人悲

本紙の讀みもの陣。

9

ŦIJ

津

R

竹田 被宣作

次

城大教授

鈴

水

武

雄

高麗れえちやん「宝」 日の丸掲ぐる

豆包 山田 五十鈴

教授人

平

斌

即

「血を以て歴史を綴る」 肺腑を貫くこの

下藤島

不安と希望 不 老 長 生 る 日 生 る 日 生 る 日 生 竹田森加穎 郑 太丽武 则 彥耶村雄郎

伯

金

T

堅

太

郞

京城 京城 一印象 風 7 八野 橋村二川紀元派一郎元元派一郎 弘 雨二浩雀

半島の思ひ出 しこの領閥れ、この書陣、潺湲として流れる遠流の如懷を綴り、或は時局に序する劇切の文字を贈る。けだへの切々たる思慕を披瀝し、或は新春初頭の明るき怒第一線の文華家のり、書人あり、俳優あり、或は半島 また澎湃として漲る大海の如く、 0 IE 市川猿之助中村寺右衛門

京城日報のみの 猿之助

陸大新さ人化文

雄果圓笠

助 平 山 杉

菊

政

歌

吉岡前佐

の夕信

勇子暮綱

和

衣

(中島女性をめぐる) (野地人男女の漢字) 定 統清 牛島 ·谷 作 本閥 家

富水 小野蕪子 四甲亞河

頭に叫ぶ大獅子吼!
するわれらの部隊長南 趣督が、戦勝第三秦劈

思いつくあるか。これ好、

わが朝鮮に寄する花形女人群か

どうがに女流らしい機細の網致、彼女等に何を惹へ、何を

筆試

半島への 感激の半島人 新帝への周輝戦 き國 翻 O 花柳 横 深尾須磨子 何 生 長谷川時雨 大妻コタ 川美智子 崎 な 花世

重

大藤榊鴨河長窪堂本福 概泰山下野田川本山 憲成 晁通幹稻印荻公 氏

にはかめくら

日百

起 부

ħ

枚の令葉書

(大船)

高杉 高峰三枝子 霧立の

赤鹽赤宮川河總西勝寺小山額邦山大野堀吉 松原松地外川器 本の本田枝室辻口内屋 常 克嘉仁な夢笛承忠ち 六完軍司用敬信 子靜麼六於つ聲畝夫雄子杉福二年郎情三子 に記する

類田島二郎小川未明

温

士隱南城

落語 講談

三悟

城 お嬢さんが

林

大戸する

井山澤石

上村田井 正耕宗鶴 夫花山三

34. 生れの 卵年

つて振く簡等の展覧 等す単島能壊の大幅

るべし。

展験管に先づ初。 大物が、彩管ならぬペンを握 大物が、彩管ならぬペンを握

妭 畫

會

ウトサーロチハ 傳友珍の 僕



忠

雄

(交渉中)

生子